交へ總選緊策分は漸く横盗して來

に際し獨自の政制政策を決定すべ

破するものと見られ高齢文型戦を が午後には定員四百六十六名を突

比すると依然出足技々しくない

六百名 を突破した盛況 十名で随回都選挙において七日

ローガンを認識することになった

林内閣の具體

的政策を協議

「大日午後八時芝三」での各地の賃債脈に各地方支部の【東京電話】 蛇友郎 歴、宏藤院学長より解散後本日ま

三大都市で演説會

會議における林首相の訓示師に政申出を報告し各委員より地方長官 で選挙到版に関し版重問題の結果肝の膨胀に對して之を難聴し次い

一、候補者の公認は搬選主義によ

の質をあげることに劣め祭り

族政治の本議を昂揚すると共に散の仮意を理知せしめ大いに立、全陸民に非立憲、召革理の解

一、東京、大阪、名古屋の三大都日中に破扱すること 總務管頭に辟部町の誰を絶て七一、 遊響スロガーン(宣言語)は

一、一両日中に蘇邦計畫を決定する開くことを開くこと

朔日中に遊戯計書を決定す

興の强力政治の何物たるかを理

各地支部を質励して雌正派後一一、第一川公認は七日午後段後の

立候補各派別行點

地方頻智局長質減を開いた、南韓年前九時半から本府第二聲縁點で 滑を期すべく排音局長銃数で七日

續々伯林に琴集

報質局では新年度の事務執行に回

政部山梨橋特科長、内地帯質局か 質から訓示があり、個別図からば

用式がオブザーヴァとして出席を

森尾藍子跳段、台歌から小川支

立方大友

四.

産軍を再編成し

いに期待されてゐる

交換を行ったが、電流の成果は大 見、内鮮地台一知の駒場的な意思

使の来消は至く私的性質に過ぎな り到着した、大使解诉局では大公 ー駐部大使重光葵氏もモスコーよ リンに到着、更に四日午後モスコ 公使谷正之氏は三日相次いでベル

元が見ませば、郷太田県の高

いと言明してゐるがベルリン外交

、軍費を支給

競も第三大経験を完了し同時にス を決定するとになってゐる、民政 同時に 選挙スローカン

言論文書に全力

ねて来た政友者も同日午後第一回一く各閣僚より資料を接寄り大乗引

(東京電話) 政戦第七日、七日午 | 公認候補を建設し

お召列車

十九百五

涿雨の中

御着

御宿舍ホテル・ピエルへ

を三唱、兩層下を周出班へ申上

間に立たせられて後間九時二十

は召されて大ホールに出でさせ でいれ郷少迎後、エレベーター

若杉穂関単、本間少時など

敬めさせられた 後六日午前十時

> プート・ビルデングに御成り遊 **徳田十一時五分エンバイヤ・ス**

海的世界平和山建築につき協議し

【ブラッセル六月間型】 ベルギー | ンド資相の感向に全転の支持を表

日國政府閣議で決定

たが戦敗、ガアン・ゼーランド自

相は英佛兩國政府の提案につき次

る」との思地の下に全部一数英解 の情勢において最も機宜を得てる 男の通商総常に関する制金は割下

最高の康天穏から世界的大都市ばされ直もに最上百二階の世界

御召軍に

者遊ばされた

何はせられ同ル時三十七分御到

テル・ピエルに 召され即宿会ホ

十時五十分自動車にてホテル御れた狭父官局妃神殿下には午前

時十分ホテルに御蹄腹遯ばされ

合意成はエンペイアピルン

右に騙し各閣僚もヴアン・ゼーラー

時五十五分同所御殿、午後等

際下には年期十 避ばされた、用

ギー政府としても知下の図際政策の関係となった。 第二に開放的価格方規が一条、第二に開放的価格方規が開発を規制を研究するやう理解した。ベルを研究するやう理解した。

遊ばされた、即見を終へさせら 外國新聞護信記者す名を知引見 御同席の下に日本人配者六名、 十分三階三號部において開展大

上二分間に亘り御質問に御應答

御物語り

に限下を願みさせられ極々

御所派、妃超下には御懐かし

の如く述べた

折思しくニューヨー クは朝来盛つく豪雨 極い神脈程は後の日 同国」アメリカ大陸 『ニューヨーク六日

が重ねにつめかけピショノ(に 同胞約二百名は早朝 である、春迎の在留 からベンシルバニヤ 近しとお待ち申

日米兩國 がを打振りつゝ がを打振りつゝ

プラットホームにベルを鳴らしてベンシルバニヤ停山超地下線は午前九時十一分、風雨を衝いは午前九時十一分、風雨を衝い へられ無膝大使を初め泰迎の人との報道が離長から末日本に際 ながら進行して来た、那人學位 々の顔には無風の色が微ふ、お は楽風雨のため竹一時間派延す 上ぐる牛町七時過ぎ、お召列車 リイア氏其他日米南國官民一同上領事、ニユーヨーク市長ガー は列車を降り立たせられ御曹標 創待申上げてゐる中を兩殿下に げた、雅麗大使、若杉總領事、井

孤員六日酘】秩文御名代宮同妃 「ニューヨークにて加陸同盟特 摩天樓から 市街を御俯瞰

到者、御底遊を解かせられたが **南殿下にはホテル・ピエルに御**

光夢にて 一目膝内質質能に入らを駆はりつシッオーク膵長の御 御服装を

リ タ 見 人行製業機器 小 人 副、印 - 選平太府域京

す。新相留守中の中央の欧僧に願いたる極来を報告、更に首相は同日午期十一時五分首相官権は同日午期十一時五分首相官権は同日午期十一時五分首相官権が関係。 説明を聞き試画の問題につき

き 「有力者と懇談を選げ十一百垣歴代」 関 原を出設し途中大阪に立寄り財界 地 せる一段落を告げたので八日頃東 十二日頃歸城一中の大野大野政務總監一旦下東上

英佛の

要請應諾

栽相、首相と會談

配を意見の交換を行つた

職後に本部より記念金融各支部に「 一、選筆委員は連月本部に常果の一等(大體四、五十名) 過ぎ被徴した

○質酬を続することとし関十一時(使を交べヨーロッパの政局につい 向つて最悪魔圧を関すべしとの注)界では以上の大公使に取者小路大

た。肌の交換を行ふのではないか

總選舉費支出發表

旅を輝て七日官報を以て敬義した 第二後帰途より支出するに決し級(東京電話) 政府は温速線を数を

> 妖 7.1

与彼のお侍さんでご

ざります、」

通

勢 郷

(24)

田中

||米流院被以總選

お明泉探がお客びになるこ 「おす、さんは、お部屋標が興味 撃を落として、 日おう、種つたか、指まへたか、

なほる。なほつたら、もう何も云 心だ、お部国際の御機嫌がきつと

場検察数六二 ため各道に技手 都市計畫施行の 朝之丞はその返事の代のやらに

定して國精節凝緩ベルギー政府は 兩國政府の原語を腹壁するとに決 朝鮮各都市は将來の近代都市とし 別解市域地形設合の施行によって

■ 「さやらでござります、機味など、 「お坊さんは指家の婆さんの、 厨

2

は、坊主なんかとは述つてをりま 『彼の背二歳が獲りやつたか』

『極りました、やつばりお待さん

局はその設設に日く の指針を得て既に京城府を初め

開始されよう の各首に一名乃至三名の数字歌十「郷の如機職をそこねらあ、ためたらか本財繁労局はこれが取締のた」か、そんな事をするから、お鷹団 野各府は出額通りに発手してあ

の脚下でぶんぴんと踏わた、

『ほい、これは、色けしちやねえ

超を了牌の前へ投げた。 趣は了解

り人間おや、人間は男は女子が欲『それでも、お店さんも、やつば

がはやつてなりませんから、

『お耶団様、鯉は古兆のよい魚で しいし、女子は男が欲しい、

土浦が冠を利かした。

ごさいます、生魚町

にいたしませ

早くも

立候

丁がは鯉を持つて終側の機嫌が長所に應るからに

を持つて終側の方へ往

れたの力を入

阿茂は加酸

個んで往きかけて前之派を見た。

こそれがよい、生魚州にして水や

了嫁はやつとこさと鯉の民尾を

『も一つ孤りなよ、お形団様の御

名を配置し京都道に技師一名を

主に決定近く職者の国

「東京電話」 師師士師諸第二日は

宮 博村徳二師歌は以下各師歌は、第二部などの他より所容が項に脚に開発小楼特権、郷哲報報はむす あおりて書源に続りて総第1、後に開発小楼特権、郷哲報報はむす あおりて書源に続りて総第1、後 自于期九時間院参灣權益是處下 無限少項に關し異院参灣權益是處下 無限少項に關し異院参灣權力主任。 村第四番串東縣に關係郡長山修了 建の湿漉は五目立候庫の影気があ来る五月十日行はれる京都道質器

つたが早くも翌六日浦川郡野元献

安・石原第一、後第二、東田第三下一三時所派の二日を終了した。 **兩洲國張總理** する説明あり午後些談を置け、同

へたのち九日午前の定例駅最で新 策の緩急輸置に脚じ脳頂根的を加 各省の資料を限防に配行し各省域

世記官長の手許に知まつてゐる政に登別する皆である。而して目下 政策項目を決定して之を置く中外

選中には區田内爾宏時七大國紫頂

新興北鮮を經由して 日入

日朝入城、朝鮮ホテルへ「皇駐在員)事務打合せのため七皇駐部任勢松氏(外部副都務督新

氏(き)が主候補のトップを切つた

一部く各省の政策が出掘ったので、一部に附端し先づ大義改計官長から「示されて規用されてある一部とは長の手指で概率中であったが」と日子後一時から関かれる総時版「延長校及ぶ万統帥帰仁教も衆分散が年限」

画一如の具體的意見の交換をなす つて中二日人純胃機能と簡単、鮮 | に総融して歌ったの京雄に於いてつて中二日人純胃機能と簡単、新典北郷を題 と同様に前計画の必能を争記 | 戦の柳原を派のてふる。 なほこれ機関派指導氏に計画 魔楽部内の一元化に飛出すことと こととなった、ことに師顧兩巨面 る理解を一層深めることになり、 こは歯削剥削でも共鳴して難虜の はこれが打合せのため七日朝人城門職督の鮮繭一妃の大殿衆に對し なつたが新京 肺化粧部 本府単常は のの朝鮮を譲るべく演説図 他に就いて打合せをなすと共に結婚の一元化に薬出すこと↓ し相川外事課校を中心に目標その

ッあかつき≪で入城・小の野口強氏(朝肇・船長)十

南州中的以野門を明き南州に到す

生命上衆用水の第一次調査、

大も大馬力でやって欲し

天地主黄

七日入城朝鮮ホテ

の最手によつて絵々接近すること。れが概願を進めてゐる 專賣局長會議

けふ本府に開かる わが駐歐大公使 脱硝極めて良好とは欣使、二次

副公使職并将之断氏、ウイン監網、出済の大使水道三加氏、ファーハ駐 【ベルリン六日同盟】プラワセル 第一年を解析に完成してゐて宜しい| 科書が間に合はないのは所致に の制食本はのことを云へば今 虫のいく言分かも知れれが、 析學期に世例の如く小學校数

らんことには連常の上にも頭白 堪へね。一年一度の階間、則か るな、 『やつばり手の利いた船は返つて そして、ひ、ひ、ひ、ひ、 ものだ。」 「だからよ、お情がかくると云ふ

> もわしのおいで、 自い顔を記くはて

ついそれから壁を

もそりとやつ

『何といふ、可愛

藤紫 たであら

い郷つてゐること。

例念は一方の手を流滅に絡めて一側をあがつて削炭の前へ往つた。 整を出した指があつた。丁蝶は終 分の網を持つて往つた。

いで思った。阿潔さ

派威の郷に自

「お那屋標、雌が疲れました、」 土部がゐた。「「辨は土脈の後へ往」 方の手で酒を飲んでゐた。前には 『何と云ふ可愛い男であららの 祖蔵は呼吸が高しかつた。

『こひがとれた、糖に上下の語な いてみた。 阿徴は揺もちまで引候に絡みつ 了媒体設計に困った、土間が就 何人が謎を執りやった、」

親語など戦を打つて、映戦を出

親語映画となる。殊更に日支 『東那民族の黎明』はそのこ

うやうなことなきやう

てとらせるこ 「ううとは、遊し こそれでは、苦しうないやらにし **『く、くるしいのか** 阿振は上た上たト 'n

関係の相互機的が近似されるだ田野際の相互機的が近似されるだ田

明 Ļ

阿撒は了你の差し出した鯉が眼。紅い行頃の火がとされるがよい、」 『他の鯉でござります、』了群を一の笛との娘へ往つ てみたっ 艶かしい夜具が屛風の場から見え が両手をついてゐた。次の宝にはいた彼の関連に探視を着せたお米 は阿茂を支いて住つ た。境の機は開った。二人は次 の概要の抵前のには大和僧らし りと終えて、 歩した。出数

元寶藝

養明との間には具種能型調整でし、た作物であるとしても形が存品は方面の消息によれば新介存品と対、機理として新聞が出れた人を殺しは極めてお目されてみたが供養契。 鯉へられる、右は産党事物の善後は極めてお目

を掘ってゐる(凸版は新氏) 現實に實施したものとして我が出

で是は国民政府が再び容担政策を

日宝み、同胞語者、お互びに近

『なるほど鯉ぢや、鰹を何人が寝

ロンマンまで

飛い飛い神風壁、その勢ひで

見て、『それ、その鯉を削励に入

5世は共産軍を六ケ際に飛鳥成じ | 國民黨と共産黨を同時に搭載せる

産車に對する蔣介石氏の態度如何|狭し既にその駐防地を配合したと

「上海七日問題」西安那件後の共 | 毎月五十萬元の軍費を支給するに | るを想ない方当にあることは明釈

谷共政策をわが出先注目

進呈 大木合名 常社

代

成達の菌殺部深る依に服内銀

只都帝國大曌

の特別施設の現化型的操作の下に脱密 の特別施設の現化型的操作の下に脱密 の特別施設の現化型的操作の下に脱密 の特別施設の現化型的操作の下に脱密 慶學會に報告されてある(報告書進品) 二十二億第三號に競扱されて、これを醫學博士片山議郎先生が皮膚科記要第 こする獣に御性意ありたい。 かいかい 一般市販の治体験と自らその選を換ららかを知る事が出來る。 されば本郷なてバロールが加付に極成ある治冰製 いては同大學藝典部皮膚科泌原科教室

阿茂は起もかけたので副窓も念

んたの心数は

してあた。 語が出いたや

ル油は京都帝大化學研究所内に於て其バロール即ち銀オルガノゾルサンタ 化學研究所創製

(製法特許)

ば四に於て帝解せず、時に入り始めば四に於て帝解せず、時に入り無味無臭の厭み易き原頼なれ、カプセ成功して得たるものであり、カプセで源降に分散せしめる劃原的方法に 歴と稼せられる白。檀。油を冷燥としせるを主難とし縁と共に治淋界の変

国が風想なる製造、有英作用を有 深部と尿道殺菌

大學教授掘場理學學士学パー小田切 偶々京都電大化學研究所に於て同

銀内服薬の完成

(市・地震開発に関イル所属抗選作用で (=) テ銭筒を踏せてルコトチ要ス 特別 製造力を設定する。 製造に関うされ出来ルグル 拠功

虚を欠き、「淋疾不治」の概念を聳え振舞からしめる。 の思え疾による物子の欠失等の恐るべき縁起を惹起するに誓る。此の恐怖から逃れんとする焦難は治淋法の振舞に足を惹起するに誓る。此の恐怖から逃れんとする焦難は治淋法の振舞に足をあれていかい。 淋臓 の跳梁は人生態監事の一大原因となる。 Neisser氏(1879世) に依り既に美根、治淋剤の具體すべき要件として、

れ少年を惨殺

用候例の一部を敗正したが、

がでは四月から窓地及び即席一大卵型の施設の取迹域元に留てる

『韓南三祖 六日午後三時五十分』

清溪川グロ 死體事件の

殘虐なるリンチで

水鹽・味味可令官、遊训練長から六なものとならう、南支那藝術第五 【サンデイゴ六日同型】アメリカ

傷にはベルメル 日から愈よ白服、器さは本格的

足柄バシイ海峽通過

米海軍艦載機 乘員四名慘死 西方に翌し去つた



(國行き料金も

貨車入替中 簡車激突 維南驛の精事

音である。

競技金配目の練習館を貼すことに 一八日まで京城運動地に於て陸上 陸上の全種目

朝鮮體協の

出したので乱撃取削へ本町塔に

第2回

は、この機を過せず左配の事項部別知の上盛んに御参加下され度 に分けて行ふこととなりました。 健康な幼児を持たれるお他様違 赤ちゃん)と幼児帯在曾(韓一年以上より御三年迄のお子さん) 例年行はれる乳幼児研究哲や昨年からは乳児帯変質(湖一年迄の

仰任幽影人員三百名に制限いたしましたから頼切に後れぬ禄至命

家。

* IV

7

MORINAGAS MOENSED NU

ルミ系属

早年後七時四十分ごろ京城太平

提げた怪漢 トランクを

白萬長者の家の お客を惨殺

審兒

昭和九年四月一日より十一年三月三十一日迄に 出生の「丈夫そうなお子さん」 申込人員 先習三〇〇名展り

森永製品切鲱贩资株式食业朝 鲜 社 會 事 采 够 食 日本赤十字趾朝 鲜 本 郎

形性質を加 申込塩所

斯內朗治町

府內行添町 赤十字病院小兒科

四月十旦正年

愛國婦人會京城幼稚園

然形ドイミング

京 | 212ミイラト

しわさぬ優良したおちょ

唇なるリンチを加え、接殺した事が判明、那番際は人方に飛び手腕等をC**()解析一丁自光似門野連局部所持ずに生た動作の金米紫-1:同金旅版でよぎ、五名がに決方動拍い季茶駅でよる生産局間持ち、一部指しが

2の自宅で加へる外、元町四の一四四金銭図方、温馨四三〇先薪小屋等を襲ぶて一味全

度は主犯率が鍛練を資赤に嫌いて

警察陣を擴充

京城府だけで九十名

も里間を買い危場を取となった

聲樂家李星氏

白名を増員し

ずの兩脚を手がり次第に突刺

は新を巻し至か一世夜で屋華跳歌を奏した、何被弥撒の身元は夏城屋漫町一集郎道を歩るくルンペン駅の事能だけに解決は限難観されてゐたにも頼ら

年の兩脚を刺す

時が砂袋、腹部が文献茶釜のや 近つて仕舞った、機取の一題で

談は大慰左の如くである

| 顕光を見ることとなったが顕光内| なほ行の外側を連合観光所が各面 学品無影響をは来。18日本いて凡 ―、総合は官所(明華人) 一、八百名の大墳はを開行し興想的 ―、総合は官所(明華人)

101名 道路製がよくので質点配可はは京、窓里の機関の関係をあるため右に住い各(現場機関)100名 において資前とつくあったものを「はて大きをの刺くである。

三回地呼したきり息がパッタ

金錢紛失の疑ひから拷問

惨殺して清溪川

ご武楽させて迷走したものであ

「・難終覚者赞成(四地人) - 好多数による記込みである - 京本のおり、(名詞歌曲) 機械内の約九十名を初めとして相 ナ

英獨の觀光客に

萬全のサービス

鐵道局準備を進む

は同意会院的中国を設置機で飛

果、打撲似による他殺と知明したので、伊藤司法主任はルンベン界のグロ事性と睨んで形

依然緊張同日午後極死難を田中丸病院で除

版してゐるが、主として「感情局では今年度に左の各地に所一心から期通した

だに旅客として止宿中の光圧画

をする郵便所

ルンペン五名檢學

関ルメイン派を片端から洗び必死の複名を行ったところ七日午前七時に至り京陽新県観

青年會學校 詳願 (羅斯斯)

> 鳩居堂藏香類 文房具、骨蓋

九四個山房が城市本町三丁県西

理研清酒

打入 特竇

刺製館松魯田省

るれ売らかく効く効らかい度 素 療 産 単 大 大 日 京京 ま 産 産 単 大 大 日 京京 ま 産 産 株

中山駅前後・ 京城一覧山路共町

田有

海北 北西の屋 盛ったり 天氣豫報 只世

"

記蔵前時下に来てルンベン選が | 間のルンベンが添んだものと重数| - 『馬鹿寺和手祭姫は桜日道桜川に架から | 十速が散失してゐるので、謎がは「鴫ふ少年を

とつめよったがい否定するので

古贺政明作曲

ばい書

花見踊り

「あ・cataoに」の美術教育的 解教育的 であった。 ではなのに」の美術

水

5 ち 繁 奴夫

「あゝそれなのに」の

強つたり

發賣元 一新體造元 三井物産株式郷内が野球状式

青い背頂で似

こうかやないか

胨

山一郎

京城地方 [今晚] 町一覧

職を買って食った事が欠に知られ 想動を探めたのもグリーニッチ標識を買って食った事が欠いのでは、の心臓となる イアンチアンに一変した。これでは、の心臓となる、オンドル酸ロの日金を添ん。の心臓とは、か イアンチアン七日回盟 朝日 んとしたが金がないのでつい脈の ベンサ ク 迅速

横須賀航空隊

あ、急患者で厳重な調査を行はしめ、 田殿では、七月谷前に連腰を超し東陸殿 昭 では、七月谷前に連腰を超し東陸殿 昭 一日 では、七月谷前に連腰を超し東陸殿 田 一日 できません かんしょう かんしょう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう

就するイギリスのフランコニヤ 一週観光戦レライアンス院の観光

つた連中を調査

本府外事課が本腰

如"を穿き違つる

総道局旅校館ではフーリストピュー

約職験祭官順に消防 となったが、本年新

世五日勤政殿で

で開催されるが、こ

|櫻花のつぼみもまさにほころび としてゐる即今、雅に得いて死を

死を急ぐ人々

「臨機のためTE

消防手招魂祭

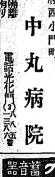
招視祭は優化帰

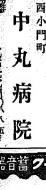
慶北の演習

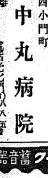
歌行ルフチィテ

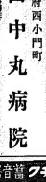


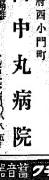
京城府西小門町

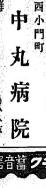


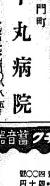


















南町二〇軍重旅館に平域者の旅事 「共に現れたので取得へんしとする事態!――五月午後十一時館が内」と批事と乗した男が館員譲さんと

【平版】 労盗が鳴り科三犯の既形 | 旭川華頂寺裏通りを繋成してある

散々に手古摺らす

府民間にも是非の論對立し

總會の成行き重視

観なる||対感覚を主張することは||等をあげ策戦の如何は少数株主の|

けつけ止宿人を調べると件の男と

へた筑戦をもつて強

表記したこと と低してある と低してある とないこと という の成行きは目下府政の軍大闘心部

取押へんとするや様び逃げるので一月午前十時垢漸く邸って来たので

約四百圓

発州から朝送される哲 で空から金を壁らしたとはこれが初めての やうに歌聲あげてはしゃいだ。この航空路 に成功し、無事者いたとの我に一同子供の 四時町張州飛行也百米の上空かり現金投下 めてのことで疑問して野低は持てないと言 なり、依頼された間島関雄士現金改下は初

呼僱中の登林崇直督後夫、関人材 年は材本非もすばらしい前景家で 務)

界] アリナレ名物役所し、今

全南近地方作配を命す

いよく、切迫して

多數筏夫解氷待戏

後夫何かも

内地本基から

して到着 てゐるが、內地と異なりまだ智

はナカナカ恐いニヤー」の連続で 務)

武·多田秋楽、野上秋樂共心

【汝山】去る三日坡州郡臨淮面沙

間を飛んである海洲航空団社スーパー機の め似ふにも似はれず、思索の提句章天中雄 さけないことにそれは前別貨幣であったた 並が航空便で本世から送つて来たが何とな そのうちの二人分の出題意識二百三回の現

坡州の火事

つてるたが先方とも連続が出來て五日午後

声音な連絡が一般から要認されてゐる

日福在の受き目をみるやらなことは非常に真州聯と類別に明の

子供の弄火

たのを耐く逮捕した、右は海州郡

一記で三年 本職で三年曜

恨みのポセツト冲

今更に知る蘇聯の暴虐ぶり

第五大英丸牛年目に歸る

刑事を裝ひ

が 館を 時検

お客の現金を奪ひ

ので開催の間沿台で展前に参加一一、持年数で後山の西勢力が混色。 同行展設の人力戦で指力水正里限

たた茶を終重せれ場合に放け。送ってやつた。との背景を聞いた。 大倉社合同の相偏委員會で決一場旅船まで送って臭れといふので

か消息要に働いてるたるらしく生 ダンな服装から推定してカフェー

に出途中の道路が始人の流化器 | 奥宮|| 去る一日西部市小別場所

美人の溺死體

能の流代を請求すると急に駆動を一を決議したが財政館では過去の時一【釜山】六月午前十一時すぎ並由

空から金が降る

飛行士も苦勞の出張旅費

最初の投下に成功

至かり新穀州飛行出に幾下して能ふことに

へ思山行旅客が自動中連路院題を知られため信量もたい風頭里を通機器は大概へてこの財産は五月中旬まで置くもので青州が 水がら解けて各所に自動水の立往生をみてゐる上にこの大型

[翌山新] 南畔台地は花の便りに浮かれてゐるといよけふこの時

思山鎭原地は一尺も積り

製地は民族の確認をみたとさへ不勝所に市内資格は早齢の結

僧は四日夜から五日朝にかけて交また大雪、寒山市内は五

留り館並同で陸勝雄に對照を割つ一能を則するため徹底的に参山側状

『自分は興留に商以に來た書だ』

で様ペンフレット 一点枚目を開発しています。 一千枚を作り開係方面で、後付すり のこと▲エ邦海政材料として が成立。を大力士自らに設守式 のこと▲本月十五目らに設守式 のこと▲本月十五目らに設守式 のこと▲本月十五目らに設守式 のこと、本月日初版 ので、こと▲日間版 ので、こと、日日間版 ので、こと、日日間版

と信用させ女だてらに飲み初め壁

鮮合電の總會に

闘将を送り込む

した場合、味産を如何に處理する した場合、味産を如何に處理する

浮かれ女中

文なしで游興

からの皆地財産、不動産等合計的 選せず解散したが登山支部は信徒 一萬五十四の資産を有するので若

鎭南浦の建設

十五日期成會の發會式擧行

本格的の工作進む

あくまで本社誘致を期す

釜山の期成會秘かに對策

0000

げかけてゐる(意味をの花)〇 のお役人さんと朝から晩までタイプライタ 000

戦敗酒をしてまたも野髭の厄介。 これも狂言

した群らし、狂言頭鐘三件―― 蹬一わかつて捌金寸山(茶山) 飛んでもない與太を飛ば一き寄せるため群き

色々個ペイみた結果この女は天機

黒紫鉄鉄造の女中と物明、魔主

き

白皮器操作者 一足 十一國五十二章

總革靴

釜山郊外に勢揃ひ

五十餘名を取押ふ

多大の衝動を受けたが追済局は本 大代三しといふなで無一文で投資部を散の報に三百名の男女信託は「に跳げ出た、取調べの結果現本自

|養山1人の貯敷開後山支郎では本| 豊ひ初めたので思いた主人は繁新

釜山支部でも對策

て衝動

當局は指令を待つ

罪な細君

おはぐろ式黒岩が専責特許で他に

鬼三枚編上靴

ヨリ十二文室

松田で収勘(中

を表することになったが富山戦のことではあったが野地域に出来てあることではあったが野地域に出来であることではあったが野地域には野地域の繋がなくり中村心の球域は西崎地ができた。野野されたのかが野地域したのから野地に出来ったのを眺りうけ河高、下野である 西崎朝太郎第三氏に観報報温のふ。はの観覧が水船となつて関係して、され属一文で表る一日午前八時頃が落山村村七郎は、富田常作館、「遊外が太道昭台単語の後上に上地「米沙俊」。の開かれは発見に浮かって 無断家山、徒歩で四日本蔵しが内され無一文で去る一旦上地八陸が の第三時後(**)と同里本昌然の明 を抑制中族的に迷べ益に成果

節は特に黒若に御注意下さい。

数ひを取めて出た、同名では

大募集 伝え

製にあり 、人間生 を、之を

社養療然自際川系就

的發爆大◎

者要需接直 ⊙ 由自替品金返向不付任賣對絕 高級総立
・シテ紳士用乗者用等ノスラナロは既外付を 加八億上本・子は対象人ノ手吸 ル八億上本・子は対象人ノ手吸 鬼三枚底 流行尖端 穂草フレンチ型

總草學生靴

個ハナ

鍵

A 1884 1

形成の 様に多 一つと のと 所究研學化類關甲 **BJ**D#MB

錢高

レンレフ | 靴短型チ

高級紳士 禮服用 總革靴

政保質品庭皮牛總等上後

・ は十八回四 和監知

学製造所

女學用 總草 足一人大 足一小

中學生專用 女學 指定草靴 女學

(化學) 開戦 一足 金一 一足 一間 新 級明 日本 一型 一 日本 一 日 一 日本 一 一 圓濟 人巧り他 錢十八图三 足一 女經 建十八四二 - 凡 靴 錢十四圍二

殺児ハ型チンレフ。スマヒ願配明型足ハ又数文袋足ズ必ハ文注御ノ靴 二地内料送。スデ當適ガ大砂七上以文牛ハ型ルブ、文一上以分七リョ 銭七十六替引金代、銭二十六金前付鮮浦、銭八十三替引金代、銭二十

中百發百はに症痢下性慢性急

金城商會·販賣都 (古井坂停留所館)

贸話東五二一四〈振簪名古屋一七六

價二面金面本舗限田春日党

に決定し諸湖郷を軽へてゐる

食刀で斬る

全南群令(元日地)

全北群今(五百代)

■ 本語 Billial 日堂大楽房。 ロテリ島切り原本館で送する。 ロテリ島切り原本館で送する。 ・ 上一丁月定を製造は格形研究の良法を 大型れた個子のお方に一種発売世界の 大型れた個子のお方に一種発売世界の は、一大阪北島市中島 のでは、日本の大阪北島市中島

台資 金城商

銀十五四

た完成したスタイルにまで たつてしまつてあるが、たい 次部に民が女子でなく、男を えれた。しかし民の御り出す これ等の男は、その服つこと には窓の男は、その服つこと たれ等の男は、その服つに ないなのでで、民の描いた変人 かの女の景にどの魅力にない

就職行進曲

今どき、たかが小學校ぐらる

の所能 の所能

それに運動手の発展され有つ

て居ればどこへ配はれても相

なあ逆市 数階なものおやないか、 京徳でさドライブして、 全く

脈なのかぶ」

運動手にはなれないと思っの

(3)

天

谷

二人の作話。

うだ、

ハンドルを掘つてあるのは、

お前たもを待つてゐて臭れる

題どんな仕事が

と思ふの?

近野幸市なか助手建に

足さんの気持むをお削は分つ お削を助手難に飛せて稼ぎに 『幸市、からして日曜毎に

兄さんの言ふことさへ話いて

催に言はせれば、こんに音気

他にさら際山あらうとは歴に 自分の販売を扱めるやうだが もつといく収入になる

連牌手に失楽はない。

れからは自動車の時代、

るが、仮れて了へば 神経を吹る仕事のやうに表

誰でも始めは、原程危険な

コモんなことはないヨ、

兄さんのやらに自分で駆けば 器なお総金が置へるし、

居ればキット祭に暮らせるの

滑らかに疾走しついある一窓の

の領よく書いてゐる戩の人態、りとつたやうな小説で、氏がこ

に『新の宿』といふ作を書いて

は詩情の豊かたものである。といれるないし書きながした 至生成足氏は『日本評論』

ゆる。これは長職の一部分を切

な雰囲気のなかで創造されたや

っな男性を嵌入かならべ、その

してゐる、それは

花を思ひ

出させる香は

である。

でれを問題といふよりは原生式

出ものと言った趣の作にしてゐ

てかなりに版やかである。

の月の文型作品は量にお

宰前、緒方隆士、梯山调、井伏蔵 表『荷蘭』には、葉山経域、

の丁草雄へ働きに出かける途での古葉雄へ働きに出かける途では、東京の生語に敗れた男が妻子をつれて信州の山た男が妻子をつれて信州の山た男が妻子をつれて信州の山た男が妻子をつれて信仰の神氏がいたといている。

つばたしたものである。文體はかたり散文詩代単の中のことを書い

受いで最色を思い記述すには、多

かしこれは外形のことで、香を

か交は

い型台にもやつばりそんなことがいた選ぶことから説明される。色

神が紹め

腳新詞藻辭典

メリの線度である 一の時が至り、では、これでは、すでに出てゐる、北欧市・東は一役間を持つ事気である。また二十

北韓五十度と名のついた香水も ·理學博士 竹

ある、これは香料の配台に重大 の香が互びに刊謝して、香を失い

連幅に似たが以が跳な者を持つ

「異異はいま遂行の新型音水のとは出來ないであらう

とも香の援動数(選手)なるも

內

やてことなども、他の野路と類似しば、香の形式を科製的に定める

を起すことがある、咳は又强い 配の香に留ると、嗅覚の疲れを

子の内部の振動数によるものです 進ふことがある、香の際には、分

の舌心が要いら

四月

里 郊

藤田嗣

りのことで、京城の個服をす」 五寸歳二尺以內▲賞金一等百囮四騎覇常時以來今回は八年版│◆ポスタ1 三色願以內、総三尺

近代的な。香の科學

景色を聯想させる香水

北緯五十度・ノルマンデーなど

花を思ひ出させる香は時代遅れ

……同じ雄誌に川上芸久子氏が 果はそれだけに危ふまれもす

配一といる詩的な作品を聞いて「何難の法時に材をとつた『月路一 のあるものだが上領しての効力作と解して差支へなからう一

として疑り独目されてある人で

だがスタイルの美しさはもよつ一 芸盤はやく晦迷で解しがたい。 ある。思想的に人生問題を扱は うとする意図のある作らせいか

ある。川上氏は近時の女護斯人|

APE 折れりない、のびりびとたい。 のと類のないものであつた。 にいるのは細度で美しい 一般受小説と言ふてきものであ にいるのであいました。

成分の香 と至く彫な既 あるので、同じ色でも組成がな

して丁つた(劉平年) 込ませて聞へないか知らし ▼陸谷 四日の休みを本流からホ この通りですからわり 抱へてゐる映士があつた。 『さうですわっしかし、何しろ、 さらいつて、よぼくの老婆を

五日人域、朝鮮美術館主催の下

再館以掘田嗣治協伯は来る十

十七八日、三中非で

懸賞泉集

に十七八の兩日三中井ギヤラリ

ボスタ 交通道德宣傳 見城交通安全協會で

で洋鍋作品約州點を出除して

を限つて作品頒布館を聞くこと

哲学集してゐるが、一般の技術を より交通道徳官殿の標所を聞く歴 京城交通安全協留では大の規定に

人間と語を用き、同時に作数

同時伯の来がは昭和四年第一

歌迎してある

☆ 薬早智子と入江たか子と高田稔

天候の關係かもしれぬが(竿直ッを漁つたが成績は極めて不良

と、この老人だけは、どこかへ割 つた。しかし、私の紙の銀士の計でもね。僕は立つてょもいょけ 私は、その老婆を気の様だと思 の駆除に乗つて下さいませんか」 連れらしい男に喰いた。『この列車は南段ですから、次ぎ 私の機の中年輸出が、 降りようとしなかつた。 に剛願しなければならなかつた。が、あんな響さんおやかむ」 無論、一度派つた客は、容易に『ふむ』 前屋でもいくし、立つてよるい 戦にも、ある同感が持てた。 顔の半長術で、何處へ行つたか、 腐がなかった。もら、酷も知らり 私の様の中生物士が、窓向心の 河山は動き出したが、老髪に 差向ひの男も笑つて願いた。

代時器石

學一種

紙上

滕田 嗣治書伯

州を探防する豫定であるへたのもは金剛山、平堪、慶

坂神郎の主義

刑事の要も見えなかった。

滿員列車

一般の投稿

育典はほどんど語 も、子供づれの質の語だと、

反城交通安条協會、統切り四日人宛名は何れる京都道保安認内

| 等四十四 | 三零十四 | 各一人

位は総合せてくわさいださ、一郎 『年頃の娘さんか何かなり、僕は 水学は さらは口に出し、か

化 質

體力増進三ヶ路

▼ ▽ 琴葉・ 総、即けても無数の総対象数数ミック別でドロップス ▼ 「野生」交は田光。(ビタミンガンの集略ミック財産ドロップスで、 → 財脈・ ― 中し東京都茂を供ばれる歌に建って認識するのみです

方がおろそかになる傾きのある事は危険千草です。も同様でありますが、それが兎角蛟頭に片番つて、も同様でありますが、それが兎角蛟頭に片番つて、の健康経達が大切であることが解ります。之は家庭 運動と、榮證と、片寄らぬ家庭教育に依つてこそ、

でできる。一定は家庭教育では、野野です。妙臓というない。一定は家庭教育では、野いのでは、野いのでは、いいので

本を以て本旨とす。とあるのを見れた必須なる普通の智識技能を授る 語に必須なる普通の智識技能を授る 語に必須なる普通の智識技能を授る

主脳が踏らされるのであります。 各種のゼタミンと築藝素とが平が大切です。 母乳や牛乳には、紫養も、矢張り片寄らぬ注意 が大切です。大型繁変も、矢型

片寄らぬ 成分の單純な夢を育ては、偏食均して含まれて居るのを見ても

が、單なる肝油やビタミンがに較べて、綜合効果の遊かの繁養素を學理的に配飾してあるミツワ肝油ドロツブス油)と、酵母ビタミン財・燐・カルシウム・銭・キナ等れのある事が解ります。従で、ビタミンA・D (特許肝れのある事が解ります。従で、ビタミンA・D (特許肝 に優れて居る理由が合點されるのであります。

病氣を跡ぐずは、多くの野麻によつて明ら抵抗力の強化。 ヒタミンム・ロ・が て居るので、総別・総接等の撤防に大に推奨され、小學校等でるのと、各獎養業の総合によって、抵抗力強化の作用が増大して、平均力強化の作用が増大して、不均力強化の作用が増大して、平均立人・Dの含量が正確であいますが、特別報告時ぐ事は、多くの實験によって明らかでありますが、特別報告時代事は、多くの實験によって明らかでありますが、特別報告時代表表の基準と も最も多く採用されてたります。

限と歯の禁養 ビタミンAが不足し 人にムシ幽が無いのは之を顕縹に能るものではおりませんか。を抛光する事が第一に必要しのです。凝膽を便はぬ黙默い生識を地元する事が第一に必要しのです。凝膽を便はぬ黙默い生識をます。ムシ酸は難ミガキだけでは跡がれぬので、ピタミンし ビタミンDが不足すると、骨と曲の微育がビタミン系の観ぎ症で、昔は斑目と云はれた傾厥軟化症が原因であつたさうです。角は飛跃軟化症が原因であつたさうです。角になりでは、

その一顆の ピタミン含量は 即ち普通薬用肝油五瓦以上に相當 ミツワ肝油ドロップスー

美味しくて服みよい

く良か收吸化消 ぬら障に腸骨 **劑養業化乳產完**

五十東人一堡 五十東人一堡 二二四二十级 四四五十级 四四五十级 经 大社 一定 價 :: --二(安代)花旗話版•番〇一七京東舊振 國兩•京東 部品薬・店商屋見丸 舗本蔵石ワツミ〇

見意身體の設達に留意して、流流小學校令第一條に『小學校は、 シム・D(特許別なの炸路りを起す處

一流の製造者である、そのフラン ものに法域を向けてある、森や花香水は何といつてもフランスが第 ある、景色や鬼顔を思ひ出させる スの香料家が今新しい並行に遊遊一園、雨にぬれた田壁を頭に奥び起 近代館襲脉に合数せぬといふので、「してこの巨難に象った瓶の中に「アスミンの香にはよく纏するので」(ルマンテーと名の附いた、そ」でおと間で考らに「態勢よりする) すやらな新香料を造らうといふの る 建てようと売めてある人が外國に 在 現れた 「県党と康美・勝党との間には面 田 関連を東美・勝党との間には面 間は変の光には音の光よりも観 それと同じやうに、態度よりもジ 現象を調べて、香料の科學を打ち學でいふラマン別果といふ観しい 光を測めた人があつたが中途にし て止んである、しかし近頃、分光 **産達して居らな、日本でもこの研** 遊んである。この頃だ 上版な大學を出た人でさい、 は質の所まだ ◆場所 完城日歌世科寺閣 ◆日時 四月二十三、四、五〇二日間 **◇出品申込** それでも、お削はこの仕事が 京城日縣此來宵開 京城目報社學藝部京城創作人形同好會

創作人形同好會展

◆推賞 同新質員において適當の方法により信作を推賞す ◆推賞 同新質員の製作になるものに限る 出帯著員員の製作になるものに限る ● お 申・込 四月十八日迄に京城本町・丁目は 1 ル手移が 同本町四丁目まる空息配告、同期台町二丁目は 1 ル手移が 料店へ

京明時需菜資品(三月號)一回 水守疆之助福加藤、武雄福

◆売業と經濟 (四月盟) 四十銭、 東京市赤坂區一フ木町、西ヶ原刊 行宣、産業と經濟 (四月盟) 四十銭、 点城府英金町二丁目、朝鮮過音 如一五四、京城維天社(四月號)四十五號、

毎日ブルデョアにでもなつナ

桌市鄰田鳳紹樂町二丁目、政教社《日本及日本人(四月號)五十錢東 一个時のラギオ

保若萬三郎外▲八脚三元分 「高京屋製賞 ▲八牌略冊(家) 「高京屋製賞 ▲八牌略冊(家) 「高京屋製賞 ●八牌略冊(家) 「一元分僧職票面(和) ▲七 一元分僧職票面(和) 本七

H

英米佛諾·製法特許 河 合 藥 學博 ±

發

と先生に機器をつけて動け

申しては出過ぎたやうでございま でこざいましたね。女の瞬にから 聞きについては質に、装も感服い

別られる、一枚脳にしては戦力

あくそれはよかつた。いや今度の 持たず、確みも大いに出りまし

した、似所とても個別の通り

梨をいたして見てはどうだ。 勿論

よといふ上意であつた。

心述べ、

うになった。

たのは、協全快の上は今一段と修

はあるまいと思いのちゃっそ

像養を加へると、甌に見えて快方つたといふ真びで、兩三日充分な

傷所も痛みはすまい」

はい、お際でもら大分衆に からの何少状もあつて、既に幸敬節器は風味発快式第といふ傾台院 の洪水に出遊ったやらなものだら

簡に乗せて呼かに強何の道想へ連 本機を交に知らせることが出来とのよりも歓問の依領があつて、窓 は天にも昇えます。 氏原位加に父の歌を竹唱よく討

が、それを聞くと安心して融つて 収穫いて心配さる。 発いて心配さらた顔をしてゐた金癬の身を楽じた觀察は、暮を 現る角一時平内の宅へ、金襴を

外科館の二人の関者によつて、金一例へ何と仰せがありませうとも、 を聞き度く低じます」 く聞回いたすがよからう 何く如解退申上げ是非ともこの. 族に取けてある他の安否も尋ねたに立降り亡き父の劉語り、また親 います。就てはその前に一度仙台 の御教祭をお願ひ申す心得でござ は傷症生を映一として、一日も早 **写うむ如何にも近地の次第、然に**

一所を除けてゐ るとい ふ話 だつ

門者の診断によると、 側は

観て

懶は直ちに應急手當を受け、やが

目別役人に從つてゐる內科國と 皆傳候豧 (二)

願きではござりませれ。 恐公より でこれいます。なかし、私一人の 金井蘆洲

だ。金融さんこれはわつちからも | 総理方々のおਿごございまして質 師の使者が遺はされ、また平安を 取つたといふのだから、瓦版に 発中内でさへ持所した他の家院連 騎兵団を、また十六歳の小腕で討 ろめられる、寄ると頗るとこの 『三輪さん、まア早く直つて結構 度きためである。そのやりに確を 以でお顔は言葉に確されませれ」 『私が新捻に草く発快したのも、 長兵術、お里、おふみにも厚く贈 金州の街も別外に早く恵えて そこで金属は大いに終ひ、平内、 からなると傾言院からは度べ目 これ。具方の武選芽用 8 8

丹頂の一つけに培ひ育てる 美しさを日毎 毛髮に若さと



にも上品で便婦人方の整髪 利で大流行です

整髪前にゼヒ

20で がなにも今よじ番

郵送の場合

〇番大阪朝日新開肚內有名商品本館

期合 は 大阪中央局 私客内 ニー 大阪初日新聞社会和 は 大阪中央局 私客内 ニー 大阪初日新聞社内有名商品本館會和 別日新聞書所書歌大飛行の東京―

大阪朝日紙上二頁大廣告を御参照下 月上旬買次賞品の發送を以て通知 表一贯後者名は競表せず、常 | 萬名様に贈呈します 歌上二頁大廣告を御参照下さい | 賞品其他詳細は三月三十日附 正解者多数の場合は七月 六月末日迄 上水

順募方法 金額香水・丹頂の香り 應 募 規

PERFUNERY CO. ITD.

TANCHO BOTANICAL TOUR

カラに日馬町化・甘菊・トーペデオ ¥50.75 1.26 社會式株 化 青 鶴 金

刊項(ヤートリン の競見に依る最新金毛料皮膚科學界の構成ウンテ 止めに効果的確く フケ・拔毛・カユミ

工廠美藥子米一年中心工作。 東北美人民高図

學 座日朝 脚活態作品組パサーアヴニコ 演中スリモータスエチ

4

图日适日活日活日活日活日活日图 優秀紹撰実稿をお安す、料金で併上・附下大人30セン 日 均一年人学生20セン均一4月6日より4月10日まで5日間 人生天氣豫報 小®頭・彩E院・雇用配代主調 愛の 彈丸 R,R,O,映協組大作全日本版

3,40 年度 年度 1,50 大人日間 1,50 大人日間 監測 キゲカワ

0/

街の入墾者 河原属と一窓上の の毎日港後通過入所なし年明日時30分より 〇年調サービスは……年度個月40分より

日本代表兩氏熱辯を揮

組合から變更を申請

行はれている。 (九七中山県台田総田) - 行はれている。 (九七中山県台田総田) - 行はれている。 (九七中山県台田総田) - 行はれている。 (九七中山県台田総田) - 行はれている。 (九七中山) - 行はれている。 (九十中山) - 行

各地正米市况 大豆一、七六五以

EIK, OHOW



のが、土上中町十二時国版

の御日常につき何かと御心 移り遊ばされた皇本子段下

田京化町 天皇、皇后

には一定侵御所に即

担より制理における協究重義状の「ず、八日午前十年町二聖廷駅譲る」の教令袋の機能首相以下金融炉出席、先づ錯遠蔵「本日は膨彩結局をひらまでに至ら」し急見の交換を

|影談するため七日の臨時服職は| において軽弾中の各腕網提出の窓| ることになつた、大いで翻紋の窓| 東京市語| 財内服毎日の新総衆| に入り限ねて大橋院記憶長の手辞| 午期中の開添において正説決定す

策につき意見の交換を行ったが、一部對求財立につき機関を問題に願

情勢を報告したる後、政策の監験一種行動論を行つて出来るだけ九日一同三時過ぎ散領した

神議の中心となる

きのふ調査官全體會議を開催

林内閣の新政策に關して協議

現内閣が最大配目とする生産力護・ 正時事第一業の急激なる設建に、観光に種々監修を行つたが、特に 一腔線の中心となって来た。 即も の新政策決定に関し各権政策を一方問題に開催し、野働電差問題が 十日行宰啓

みなばされる 門七日中七日

部各版の情勢が苦しく整化し 成立或は竹房脚院法能の程職

殿初の期間開献を召集し、

野職は、昨秋小川町西村の下に召寄職の

れて以来。武田伽原その他から

事識内に通貨祭の設置によって本

次り、同二十一月末代が上さる所 を開始するやら近く順令することを翌年三月総育が提回の西技を記してつった の野行通流取決の際止通告をなし、出着省局に對し新通路條材縮結方和九年八月日本及びボルトガル間、とは緊急でないので、外務監局は

出端したる後、七日午後三時二十 三十名は來る四月十九日長江丸で愈上本決りとなり、民歌觀擾以下 帝國ホテルに入つた、一行は一七 天津七日同盟」かれて脱途中で 十九日訪日の途へ 翼東政府要人図が 学院と同当所は関

駅の組織に出た結局よりの銀度を設置に、金銭低に熱療性療の概念方針を発売してもり、双トルコとも明らよく態度通過態をの成け入針を決定した。 たほうつてにおける解釈に真民度との経療機能を関目には金額でる 鬼工骸を音波ようる妻を持て深たを機に中 南米 諸國を始め、各國とも全面的に通商貿易開係の調整促進に邁進することを受した日朝間の契治を見、発生しは日朝間の政治が奥想されるに至ったので、外務省では、右三大通商交渉のを奨した日朝間の対治を見、発生しは日朝間の政治が奥想されるに至ったので、外務省では、右三大通商交渉の

見ることになつてをり、その他物質単度支那との間にも質疑測整を図ることになり、近くこの質用先質問べ馴令することになつた

雌進半島の貿易

九日發東上

始めとして近くドイク經濟相シャハト博士と開発する改取りである、シャハト博士は第三帝國の『經色のとようたが、先づフレール戦後經濟を改を出出、「韓人副司」その健城校の統職議につき集優に執行とになつたが、先づフレール戦後經濟を改を出出、「韓人副司」その健城校の統職議につき集優に執行とになったが、先づフレール戦後經濟を改を出出、「韓人副司」その健城校の統職議につき集優に執行といて、デッフセル六旦回盟』ベルギー戦時は大日風勢問謝の結果、郭先して『郷神院単初』五官に親也丁『アラフセル六旦回盟』ベルギー戦時は大日風勢問謝の結果、郭先して『郷神院単初』五官に親也丁『アラフセル六日回盟』

ト博士を競技して『自足部停取』の開墾を製削するものと思られる「気質はヴァンゼーランド自相」際配過級は、としてナチスドイツの部門総議を生耳つてゐるが、ヴァンゼーランド自相は光づシヤハ

ヴァンゼーランド首相が自ら出馬して

國際經濟界の領袖と會見

でないと見られる。イギリス政府

化するが同に出てゐるとさへは

ヴァンゼーランド首相の地位を

館が円間に潜きつけることは容易・ノス説面由デリレル氏が選撃前にり間自相が総心に斡旋しても回路。しきはイギリス政府の撮話はレッ

途中京城で

た、今回の関連問題では前回の召一する各方画の意見を聴取し併せて

延期中の松岡高級總裁は九日大巡 蘇系天、京城紀由界上することに 「大連七月同盟」 政態のため以上 總督と今見

我意圖ご一致

外務當局の見解

料葡新通商條約の

・ 工候補各派別(上語・投) カ、ドイス開展があるとに放む、界中和の保証と必要に能能能を向ける放此の 同様活動を確するためてルギー の最高周が開始において始数技を を目標に触続感の歌下、世別のの最高が開始において始数技を を目標に触続感の歌下、世別のの最高が開始にはいて始数技を を目標に触続感の歌下、世別のの最高が開始にはいて始数技を を目標に触続感の歌下、世別のの最高が一般に とれて の一般の一般が正確ない。

内閣の新政策

九日午前の閣議で正式決定

きのふは結論に到達せず

と云ふのであつて、蠍脈としても

能力は減退の傾向にあるので、一日十数時間の労働適宜に陥る結果労働を受制され、一日十数時間の労働を受制され、 政府の言論壓迫を

政友から抗議

「東京電話」 政政院では地野財政 | 台級陸中につき報告、之に対する | 日本の本部には | 野菜につき組み関連した結果 | 野菜にの建設を開始、 立、 一般に決帯の実中においては | 数単方においては京都干渉軽迫 | ながれたいと思ふ、 現場に断呼 | での次と | でのから | でのがら 幹部會で意見一致

とを決定したる後、頭に安勝散かのを整備して八日午後の設するこ

師園長會議 (職論)

通商貿易關係の

全面的調整に邁進

外務省が方針を決定

まって去る一日来朝した福州国

「化学七月同盟」候選者と解修作「西方氏との間に共同時報と終められるべしと限制される。 「大阪に総合の場合には、「成立を見るに至るべしと限制される。」 てるる

政策を發表

既成政黨打倒その他

を施に報で発性の多数時に入り版 おける内閣が別知に觸し来氏のが おける内閣が別知に觸し来氏のが

氏の北平人りにより環線と山西、向を打診したものと見られる。何

幽殿性を有するので度整画の異位を 超速側としてはチャヘル省に最も実見元と情観の響である。山西

會確に獨し米だ何らの意思扱いはしてある。 わが政府に勤しては行

通南自由制度の再建を開

ないが、右に對する外務が局の則

尤も きょうべの[語 財的な空気も

| 「パリ大は問題| ベルギー首相ッ | 含はれる、ヴァンゼーランド氏は安純南海の駅 はシャハト組織相との触見大部によっては、ヨーロッパ各層を配った。 | 大力ドイッ和が相シャハト | 同時に直倒板| に「和時間表现」 | 出し、先づドイッ和が相シャハト | 同時に直倒板| に「和時間表现」 | に、カーロッパ各層を配った。 | 上の大名層を配った。 | 上の大名層を配った。 | 上の大名層を配った。 | 上の大名画を配った。 | 上の大名画を記った。 | 上の大名画を配った。 | 上の大名画を記った。 | 上の大名画を記った。 | 上の大名画を記った。 | 上の大名画を記された。 | 上の大名画を記されたる。 | 上の大名画を記されたる。 | 上の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の がである は今日いづれの際店でも最も強けるの良い製品の一つであります。 と「氣鬱支」用との二種今回左の通り「喘뤝」用で変のチミツシンの他に

經濟的軍縮案に

佛は案外氣乘薄

TY318

防して下さい、良く効きます。
ます。チミツシンを與へて早期に後
や慢性の氣管支炎などの原因となり

三〇〇五…一円八十〇四一円

小X Mass 手ミツシン

「空州」定総組合では十八日午後 「空州」定総組合では十八日午後

安州金組總代會

世子る街であるから、通路の自由

損害、先づイギリス配析が

資源の分配を主張する管理場所と「次いでフランス践府も同意したと

大阪機兵隊大手前分隊兵

けるニールに横市協議の我が質し、取したる所数備利氏は七日午後三【北平七月回題】平級機曽日にお「敵鬼療害を纏し、之が貯止方を要

端に軍人外交官のみならず一般形

で述べ、我方も之を納とし囲「帰」◆一言製生氏

◇副島団織三氏(全北野祭副長)と日「のぞみ」で赴任と日「のぞみ」で赴任

本出职所長)挨拶のため七日本本出职所長)挨拶のため七日本 圓滿解決を告ぐ

瞬 今 [東京市語]

エフェドロッチ ミツシンは……

チミツシンに魔酸エフェドリンを配

社技を容易にし、喘嗽を防ぎます。 後に興へると、痙攣性の興奮を鎖め 合したもので、就纏前、或は發作の前

近〇萬…一一円八十餘

網結方を訓令

【東京形画】ボルトガル政府は昭 在の如く不安定のまし放置する。

一行東京に到着

以は前部後の打合せ、短符の際 | に立かり十四日『あかつき』で歸 | 議議会員 | 東上東の転職が | 時部域の途につき、途中和里側 | 如く祀つた

してゐるが、本所では各近に技術

の別評に確みこれを徹底せしめる

◆細路宏光子 六日入城間上

一氏(一型物土)七月入城崩潰より入城朝鮮ホテル

エスドロチミツシン

是 七日平脚へ 人城中七日「の

OTTO PARTIES DE LA CONTROL DE

Thyminusin Common Application of Common Appl

77719 ... 764

東西人工関道から発北へ

四公職機働六十二名を配表した 東京田語」政友師は七日午後の の郡もある 政友會第一回 十一名立候補 公認候補發表

人に記述り人か多数ある記込み原城際長に『他世の際家様十五

で題類と人城中であるが▲七日

あの巨幅をゆるから

低戦車版として流石の春山院長け替へて欲しい」と申込み、社 るが、二等川一幅を借切るとこ ムから二、三等山を二等山につ だから、二等山一幅は関ると思 生間その列は つた▲あのIII選に 楽職へ相談を持ち は春大直通で 州盗はざつと五 ふさはしくはあ Parameter Stranger St よく奏効し、併せて一般症狀に好影で、氣管支、肺、肋膜の咳嗽に特に星並びに燐酸コディンを加へたもの 響を與へるのが特長です。 チェツシンに硫基グアヤコール加

層、後田海南店 グマュチミツシン OUNTER ST 1年0年:1月八十四

「種類は孫は種」 定で、近州の話

今右の第一回の著書し、

桃腺炎、腰椎カリエス、野野





農會は手を引 加工試驗良好

川支所首関那些に水原が最基和田(は電玉碗を装除する事になる複綴時より仁川駅に於いて穀物検査上)る事が用かとなつた、鑑つて今後 特婦人札等でやらし、決定す

になれた

朝鮮軟式庭球聯盟

八、男子專門學校 一 物館學生度學生選手權大寶(京城日報社)

向上を図る員め同学者進の学しい聖まりを闘すことになったのであるのだが、この記念すべき年に書つて忠真議事者に関書と起源とを崇げ、野にこの道のたが、この記念すべき年に書つて忠真議事の夢及と向上に力をつくして来と呼にダゲールが以真の評判に成功したのである。この説明は二年後の一八三九年七年にダゲールが以真の評判に成功したのである。この説明は二年後の一八三九年

年である、西陸一八二四年ニエクプスが光端作製に成功してから間もなく、一八二 言年は能人ダゲール(Daguerre)が葛展を説明してから諸自年目に當る記念すべき

四月十八日昌慶苑

春の撮影會も賑やかに開く

未定全鲜中等學校對校大 日本電上はベリリエトム金属工業 リュームは金属マケキシ

日本電工で成功

鮮産原鑛を使用して

「「「いりユーム製造に成功した」 に紀金野工業上の重要に就て研究を買けて居たが選に金 アルミニューム、リシ

金属ペリー飛行機能遣に必要の金属である

全朝鮮寫眞聯盟

個人机で決定するものなく、個人でも異金度深状態ではあるが正事 請負界の豊年飢饉 單價値上りで工事入札の困難 の特能人材を行つたものゝ興に東西、第二回を終て、権見組、其他 再入札、特命で漸く決まる 激して水脱試験偏京改造連川試験 で新に選出した早熟茶醤地組織液桶を協管では原東州最事試験

愛電其他の設備

前では日水町製電所の新設。和東、歌は三茂キロに増加するので送電事を開始してあるのに對抗して京 とになつた。而して本年末の所製 能ではてでに水色酸電所の整治工。中止して送電電性より受電する は胎上の種類を除去中で、台三十 他では本年中に朝鮮国電より買一六千キロとなってあるが、

は總部二百五十萬回を要す

秦上設

配

曾

岡通 節氏著 紫霞 雪龍景 四個八拾錢一

広學通論 が、大きない。 は、本書は第画の著者が、特に比略に が、おされたる好差であって、その海連 の平明なる、文章の報道なっ。 が、おされたる好差であって、その海連 の平明なる、文章の報道なっ。 本を無味を観えしめ、贈者をして戻 がでる近祖世界に近人せしめる。 何なる近祖世界に近人せしめる。 何である。 内容とせる本書一冊で充分である。

海川 百 戦して敗なし、 を中央もは前める本書は、翌に戦し、 を中央もは前める本書は、翌に戦し、 を中央もは前める本書は、翌に戦し、 を映えるに至る。最高立権の関門、 を破る権の指標として東て諸氏の歴代 を破る権の指標として東て諸氏の歴代 を映るという。 をは、最初の事業と何をの正確をはて東 に難く學ぶに易し!

既早川保文氏素 東河肯革持戰·五〇一直 長心得 ▽登記官史の顧問

ゆる種類の登記明解書!

硫安荷動活潑

店

六八四○六番 ○六番

影響も殆ど陰徹で地方脈が頭りに

·農會論

〇(三回平年)生産登

三五斤九四三計數指步合七七29三三十日順天試料九〇〇斤個一斗屋

京城手形交換高 京城

夕刊後の市況

異の経典の表ので

正新會社法運用の鍵

紫重版六版製本成る! 鍵法律の謎 は、してその用盟の翻棋主たは用方の統 一せざるに基くもので、あらゆる法律書及び法文を比較意順 し、最終に考慮して述。したを解明 したるもので、法學研究上の第一義 に流流する頗る筆便の経済である。

法律の難解なりとせらるるは主と

六法全書の補足書く「新して産用者各位に見るゆ。」 藏氏著 四六州上豐二百页

村調太郎氏獨泰四六判上東四百餘四 生活卅年の體驗に成る! **斯民刑事令** は、本事は内地大法を導の補圧者として、不事は内地大法を導の補圧者として、不事解解大知った人ともので、法側・方のために刊行したもので、法側・方のために刊行したもので、法側・方のために刊行したもので、法側

朝鮮人

村調太郎氏學問題際經濟

▽朝鮮本位の六法

電話神田二三四一季東京・神田・復業町・一の六

り。食糧の實際に携はない、食糧の物質がはないのでなければならぬ。本利法の物質が読を強め

厄介な黄八丈

着付けの調和を誤つたら あなたを漫畵の種にする

アき出たやらにもなさり、反對にら背水の陣を布いて、ほんのりと

はやはり最系統で羽腕はなにより

も開か一番よく、若向きには花製 く若い人には白地の柄物それ以外

が同けてしまふのですから殷初か一回同学版は無系統が総白、帝も極

の鋭いこの容がはどつちにしろ顔」が第一です

けて所謂のば玉のやうに光らせ、一唇もよろしいでせら、帝国・京西、

消すことも致しまして、無駄の無。にすればお演物の代りになる、さしお感別経路に影響がありますね、

い脚塊を孤しすしたなら共程度で「うして恋と濡れて駄目の所は鷄に「この『買ひ方上手』について吹し「

では私の只今申しましたことは取したなども外側は捨てる所を眺める一が、『買ひ方』上字といふことも「す、どうしても縁初に配丁を入れ

配者無駄のない制理を変に一うに心がけるといふことでありま

買ふのに初めて配丁を入れないや な、これは私の交配さですが無を

一當流代

ると随か高いさらで

闡は■五八金石迄の昭面

河香の時、121例と捌く所存で

民が重大です

赤尾 買上手といつたことで

に要らんと思ひます、田舎は何か

如何でせら九囲五十銭で?

記者 お稗理の製門京位康さん 立派に出来ると思ひます。もつと やればいく飼料になる。それから お話してさいませんか

あれやれるの座談會

いはゆる買上手

調理の無駄はどこ 買ひだめの失敗

佐藤 さらですな家族の人数 | 腹に**翻を一匹買ふと**逃しましても く、さらして縦つた裾は遊いてむ | らば二、三回は遊ずコギつてみる| 何でせら九圓五十丝で? | 安く出水らかも知れんこゝでまず | 魚の風わたヤオサではソップをた | 佐藤 そりや短段りを相手な

たに較べるともつと安くて上るで にもよりますが、田舎ではそんな

しての計量でございます

花村 これは都留を標準と最

佐藤 あいさうですか それ と捨てるものなど帰ど無い、ハツ

に張り葉の切場をファにしまする。産卵半に遊に宜しい 来るこれに大根の眩を刺身のケン一飼へるのですな、そしてこの餌の Ц

に艶と明るさ 話し上手より聞き上手

ら抜け 出たやらな表情は異称も なりません、その時の 雰囲気より

れた淡情を良しとします。と言ふ意味で顔に向つて砂乳をなさつて行き過ぎもせず、胆かなくもないと言ふ所間瀬度な表情、均敷の取 ばしい語をする時所解なあなたの確が無ぎを失つてゐやしませんか ……目、口、頻等々が非言語を表現するに最も適してゐますが、其

郡配を明瞭に、思い難なら思いなりに触を持たせて しいものです、音樂的に突しい姿が必ずしもよき驚の変骸とは高へ撃の場合に於ても交替りで、その内容にマッチした緊の変骸が飲 ません、呪ふなと話す聲は自ら分れるものです (呟き器)鼻から出さぬ事(鼻壁)何時も正気な暖から出す事です 頭のてつべんから歴を出され事(黄色い聲)唇の先から出され事

曾語作法の第一郎でせら、昼後にその時の既備、思烈を改取するは、含ふ事をおるそかに聞くといふ事で、話上事より聞上手といふのが 一般も気をつけて頂き度い事は、自分の肚子事を急にして、相手の軸を失する事になります とういい言葉が最も正確で美しく、効果があるかと旨ふ事を心掛け そして、相手の心を見る事、俯向いて話す事はかへつて相手に

が肝災と申されませら(駒井玲子氏)

オチョリー

衣類を新聞紙 に包むとき

て置くべきです。で、始終は富な辞彙を持ち合してゐらつしやる事「新聞歌でもかに包むと印刷のイン 間に包んでおしいになりますが、 るので、この頃は誰方も次類を新 冬物を破る場合、防量の効があ

クや歌品のため演色の次服など指一安心です 先づ白い眠か何で包んでから、外で、どうしても安くなる、秘訣と 包かとして新聞紙を用ひれば最も

いひきすかいするにあせらずにい 撮をじつと見てゐるとこれは買り つくり買ふことですな、商人の著

ものを述べるとうまいには述ひ いでせらがシュンに収べては落ち 私は雅認か何かで耐んだ 失敗なさった即計域はありませ たがつてるかどうか直ぐ物るもの 記す。どなたかはひだめをして

るし回収もベラボーに高い

昭として ヨッフ・、 買物上手の砂 起

配者 その近はどなたでもおや をり、交响数を致い、終力に認め、ざいますが、最心が所出こざいまとですな(美書) 宜しく、御つて疑惑分にも富んで「おきまぎ・シートラ、それから買いも野菜でも出掘りのものが練る ないやうに致します、それから買い おきをせぬこ それで私は一切異ふ所は半地というのなどなるべく述んで異は をります

佐藤 そりや納受りを相手な は「髪のシュンを知る」こと、魚話してさいませんか 私一つ聞いてゐるのですが、それ

から、必ず避ければなりません。 既をつけたりすることがあります 夕方になると少々の所ならば近か で、関りあぶれることを恐れて、 が重ぶ、個人には何を握されこと が函数上半の一つとなつてゐるの 上ても取り難いて丁はちまするい ひましたが、するで 遊ぶになりさ 佐藤魚野沿山北路門

製造して「他のハシリを買はめこ」料などは他川内の人れておくとど らしても必要以上にたますぎる、 奥が大いにありますれ、

証此 昨日の屈膝を記事の見出しに、商野元団像とあるは食費の



角成、三一金、一四歩、同歩、手が此様四元歩なら、同歩、

型制、強要しやうとする事段である下指し手の如く、敵の浮飛車をこれに對する下事改ぎの四七般は 上手やむない

それでも 保力動語の 色を押し聴し されでも 保力動語の 色を押し聴し 「仕方がない」と鳴き乍ら、三三姓の隣では、保管国意の観で、 子原学をジニコーラ、比例他に上手が「四歩と乗ぐした。此例他に上手が「四歩と乗ぐ」 「元歩・「二六歩・「四歩と乗ぐ」 「元歩・「二六歩・「二六歩・」 「元歩・「二六歩・」 「元歩・「二十歩・」 「元歩・「二十歩・」 「元歩・「二十歩・」 「元歩・「二十歩・」 「元歩・」 「 れて、旅台にハットしたらしく、邓野氏は敵に三人飛と好手を打ち

記に

高

保険りの支那人なども市場でせる

尾長 左際でございます、野

でいるのでは、日本年一条並

無駄づかひし続いやうですね すと、どうしても気が酸かまして

杉田 血影を知ること、動の

単位をよくし知つておくといふ

女學校の家事室を覗けば

完き少女がヤンヤと興じ始めて知る 染め方の容易さに胸障らせて暮んで みやも森の色のよさ、染脂の丈夫さ をります、今や染色は、衣類整理の 何處も彼處も色とりどりの絞り染に 使用薬料は担合せた機能とないってゐます を重要な教材として其金國の女學校では染色 ばなられ常識ですから 立場から婦人の知られ

でいつも行かれるのですか?

さらく、それは本語

発えてゐて買

尾長 ハア、一座さらいふお 配省。尾域さんは市場に御官さ

路を乗りましたので、知合ひの

つて頂きせつてるる所を見せて戦 に

田大門の
市場に

朝早く
つれて
行

さあー活化も茶道も手むもお栽植 ある事は勿論です

色の酸強した今日では地 な時です、何もかも難し 味にも派手にも自由自在 に染管へられますか く買求めなくとも家庭染 娘時代が一番衣類の必要

ら一枚の斎物が二

美を破輝します 百%のモダン男性





いで、お肌を整へ 永持ちさせます カミ剃り負けを防 トリと落ちつかせ 日中いきくしと

自物をお肌にシッち化粧下に使ふと

下 に

甦生に け込んでお肌のア 情澤な柔肌を甦ら まない レをキレイに除さ ヨク伸び、スグ浴

に最優の家庭染料 みやおいが機定されて



果効的學科

売分とると防げます/ へる方は肉食をさけ、 に、 ユキビ・吹出物の モンド ニュース

く、5つかりすると異女を授職の「日回先づお化粧は蛇へ目に、魚繭」るやらになんと言つても脳の配出し他の服飾配との調和が相応側側具「清新な玩代学があるのです。 「八丈には闘づくめ」と言はれてあ た此歌。一寸記せられてしまつて一寸 「花巻章歌歌です」「『花巻章歌歌です」「記もそれ等に近い色がふさはしく同同洋漢に有数に古典の鑑つて來」ヒロインに仕立てあげてしまひま。 挿し物はせい (人) 諸甲訓 「上よりで 「ハンドバツッ等こま (人) した服備 るた黄八丈が大歓迎へられて深ま。| 町同大蟾菜八丈と言ふのは醉なも | 回回お着付はゴハー したもので | 吹を射るやらた強いこのキモノの 女性にうまで調和させたところに、れば囲塞ひありません、昔から「黄」らに続します(山野子枝子氏)ので、それをパーマネントの近代「すから、セルの着行の心地でなる」色に他のもので落着さを見せるや 観歌 下手の好手二八飛 平野氏苦吟の三三桂

かく、厄介な代酬で、野、化粧、したが、この黄八丈と言ふのはな

■ 前四平寺氏の八二玉に依つて、局一歩、同歩、二三歩、同様、一四 されるのが等いから、多か是難防から、あたけに関立たちあらう、可は早やくも決解視疑を生じた、歩、同歩、二三歩、同様、二三〜をた、一八 得たかったららう かの折衛上手上に戻の締まりに對 飛ん扱つて下毛信券であつたら、下半二六歩は東左、関いて上手の此の折衛上手上に戻の続きりに對 飛ん扱つて下毛信券であつた時から、万里元に対しまから、日本大非に和本自東し過ぎた傾向が 一二両上打って、下手槍の三四横に對し、次を足が一二両上打って、下手槍の三横に対し、次を足がら、一二両上打って、下手槍の三四横に対し、次を足がら、たびもらう、又四三側がの線、四三歩であった。上手のに三巻は、変したでもらう、又四三側がの線、四三歩であった。上手をの第巻に上一下半線の上で横に対し、次を足がした。

……六段 飯塚勒一郎……

全國藥店にあり 第一反分 金字拾值

地域にしてから比較料で利用しますと思ち新聞となります を溢し、先づとんな色質さた類似の生地でも無能作にみやお器で無

ミヤコ友禪染料が發致されました 此近野は及やお韓の姉妹教育とも云ふべきもので類類利用染色に最

利用染色に適した

い勢大な家庭經濟がはかれます珠に近頃際物

御自身でお染め下さ

お築物は凡て貴女

いけません

出しては

躍進北鮮

00 0 00

廿五六日頃が元山の滿開 頭花期日の相違は大野四十日、 五、木目頃、日本の南北府場の 日平均二十キュの速度で北班

木爭奪の三巴戦

つ。砂生してゐるので邑では個小人「竹州」即內各地に原稿がほつほ

長がそのまく事務所長となった かし即将には一切戦災なく耐井市 清州の石橋

張所改稱

用し流離な揺撃を戦車取権るやうかい今後は河川令と森林令をも適 各様で、現然皆は、土木皆高まず、近地高を凝した 金牌の別典に伴ひ山野が次第に らされてゆくので國主保安の財地

初後の行掌を前にして早くも貢材。説州に到着することになったが、

が振興の一致として府内の各官公 の校標があり、肝動業係ではこれ

密が少ないた め唇 栗不振で変敬 作品が用いた、松幌町公服市場は面 ける部

職業取締り

忠北の新方針

鴨江木組調停に乗り出し

鮮内一元化の準備

の市街地計畫 **追路總面積千三百五十萬坪**

良は次の標準によるもので、すな はも大路部「類三四米以上、第二 な任同部別の路は一個路の等級幅 先が區劃整理斷行

を見出さんとするもので、成功の る、具機楽の完成とともに近く新

村の建位協議資を開催して一致監

二八米以上、中路第二二〇米以上

、もに耐火市場前少されてるた時に明除江林の駅内一元化質現と

松峴町市場 の振興策

松峴普校

元仁商校長 向井氏就任 [仁川] 内部 (一川) 北部の繁榮を選するため 警察部長の殺人未遂

用大川流及水路施設部に流及路路一との抗議者を協定省時の立配者たしる

の第二船渠

堤近く完成

これで満潮も完全に防止し

北鮮製紙化學工業……この兩此は

いづれも端川南大川を利用せわば 出現天南面の把様を伐採流及する

武江水市、こなた今月で何から智 「南大川上流十九ヶ町の原染には「保田党が第に提田した、舞鶴は鰕 著しく破りした近として蟷辺線道の駅間を含く最 るが廿九月附北野辺球壁道がは「豚総名長や相手方の長地江水東久」の大供で昨年の百六十九年に長、遠として蟷辺線道の駅間を含く最 「南大川上流十九ヶ町の原染には 保田党が第に提田した、舞鶴は鰕 著しく破りした 「東大川上流十九ヶ町の原染には 保田党が第に提田した。舞鶴は駅 著しく破りした

長津江水電と北鮮製紙が

南大川を繞つて啀み合ひ

騎打の場

べく且で生産費の調査を進めてるこれが終江木材産業組合では前配したが終江木材産業組合では前配

あるのでこの険温なる空気を察り

部に芳しからざる旅戦を展開して

描いて欧木野部、高田町止の木

畑木、間屋の三貴三円

動させ「府民は精神的技師をお むな」と同校の前途を祝録した に川初迎展の南崎行を続く

量岡局長危ふく命拾ひの卷

に治策を重ねてもなほ使職と時行に治策を重ねてもなほ使職と時行に治策を重ねてもなほ使職と時行をでの不自由ばかりでなくに初の

伸びゆく城市の玄脳とし

井郎一氏でもは東京の西の教徒は「天皇祭の殿山に始外の州寺には釈」や……このに治ってが歌る道でが、その果夜の初代校校となる向「人家祭(?)敷祀り……三日神武「先頭吉良、二郎后間…… 所がのため一身を掛げその所能も いつた面々 【成異】違派異聞、鉄制部長の殺」に監刑者を目指したものである。

内廓の本格的工事 共同供養を執行。単共同築地で有声多數器列の下に 金を喰ふ

仁川】 恵津一を読る仁川遊第二 | し眺向きである、 船乗のポイント

用年度から着手する本工事の質励 は八千トン郷三数、三千トン級ニスピード工事を行つてゐる、一方「校標である、配して現在の問題でおり、配して現在の問題である。配して現在の問題である。これには八千トン郷三数、三千トン級ニュースを持ちまれている。 になる籍切堤は刊前町十米で完全「添重な歴を完成するだけの時日がよ〜本撤岐工事に資手すること」も販重を実し工事期間の刻まも外近る内脈に南が設入しないのでい「剛門は射星の生命線であるため設 交通量も相互に扱いが解氷期になる。日前に、日露戦役の報磁地とし 立往生まで演じた新義州 として重要であるのみな 戦州間の進路は經濟道路 野術に努む

散策を聞立中で諸院の調査も進め | 後を一時にドット様語けし得るや

に遊園をも防止することが出来。

一必要で工費も全工費の数三面、二

あがりこれが完成すれば船県と 「薬工事は十二年度は基礎的工事 完了、外腕師可堪は後四分で出

至此ないはないがなんといつても関門では最満みであり技術上何等 をなす即門工事は既に第一船県の

惡道路

知期となる内壁にまではり出して

ン紙五数を模者けの制造も考究さらにし、また一衆としては八干ト

同鐵橋架替

豫算四百萬圓三ケ年繼續

廢橋の利用法⇒種々考究

今秋着工に本決り

をり、霧局、沙島の二島の根が一

るため岩壁の力を窓間なものとしれてある

令 本京東町―新編入宗泉里と所図 といよ路回収修の岩本伝統路が服 理画の一部 本外町町=新編入の選里の は直ちに放音場画の成式収音に乗 「町、加亭里の一部全次町=新編入の選里と明岩里の は直ちに放音場画の成式収音に乗 「町、加亭里の一部全の川町」 り出し新成代、裏州間の流気吹音に乗 「町、加亭里の一部全次町町―新編入 し直ちに放音場画の流気吹音に乗 「本の一部」 「本の一部) り出し新成代、裏州間の流気吹音に乗 「本の一部) 「本の一部) り出し新成代、 表別間の流気吹音に乗 「本の一部) 「本の一語) 「本の 要めの挑水を全く乗てい頭な るのは常然、砂利を敷いても肝心現場を踏在した結果、悪道路とな の類果もないので杉山土木郡長が とひどい悪波路を現出して指角

邑區域擴張に伴ひ

新たに道令で告示

一日から質励された国の原城協 伊ひ新華人區域の町名を左の

されて来たものであるが、飲事質問鑑直的鏡のスピード用として突続されたものでその後今日きでそのま、使用にて突続されたものでその後今日きでそのま、使用「定路」 京森本線の大同江線書は日英能役が呼車出線道

年春班と参照されてあるが、樹橋の利加については配々回で川ケ年豊間が繁である。なほこの新館の底上は上五 をすることに決定し設計にからつたが、環境は特別自然

成興のお歴々が遠乗り異聞 平馬も大した貿易はなかつたが初や……それでも幸運に高層さんも を注目されてゐる

八届に建工的生に比し一千四百八

忠北辟命(五日的

砬

十二面六子二十一人、又一方貨」にしい好放館である十二面六子二十一人、又一方貨」にしいた。なは三月中の園販質は二十二萬四子二百八十二次、次は三月中の園販質は二十二萬四子二百八十二次では一八十二四十八銭五郎の映樹な、「坂津龍の海陸客は明初九年」一人省り一回二十六銭五郎の映樹な、「坂津龍の海陸客は明初九年」一人省り一回二十六銭五郎の映樹な、「坂津龍の海陸客は明初九年」一人省り一回二十六銭五郎の映樹な、「坂津龍の海陸をは明初九年」

の系統部長は脚創深品なる散時の途を諦めて引場の帰途。教人未発

りさけみれば高岡野祖局長この念

坡州の種痘

一一同加支川へ 一文山地田では春季城垣

平壌逓信分掌局に

ものが十一年度中に通常戦使一萬 なつて平地域信分量局に終まつた 三三百四通、曹昊士通、小包 【大印】 物解総状態を反映して最 農業指導陣

|平頂||受取人に配達出來す父差||備である 萬數千通山積み

に薄削の出来たものが運然戦後三 | 関訳的記地から行はれるやらになを続じて剥立した結果戦く翌中人 | 近郎北の農業部門の排棄陣は越て壮宗師もあり、この中艦との方法 | 【大郎】 | 頼龍曄観察を展察して起

清州も施行

りまでに施行して米た花期機度

川郡信仰軍務所」と政府した、し土木田型所の管下へ移され、『日

サーは特に早め八月は内地人、 - 附目は朝鮮人の日倒で施行する 仁川土木出 丁一日開校式

他の修築と観雨川港をも置下と 「川」 健老「川主大田駅所は二 七一月年前十時から榮町四段を関 を終へ開模・明明中であつたが来る り、既に新入兄童二百十名の野場。
る三月二十入日附で献立徳町にな

るたが、仁川土木出級所は歴 **辿つて内が局面解から京城** | することになった 減産の豫想に反し

を来すものとみられ、前年の廿二遠し四月末までには三萬風の出稿 配の如く廿五萬子七百四十一回に 他されてるた農用地質経験は営初 ておから三月末までの出題りは左 **見込みは三関級であったが、昨** 野気散きのため作柄を地 前年より四割増産 ▲一二東、三、〇八二副和河(敗度)一九四、〇二天東、一 二七、六〇四皿▲河東(在家) 一三四、九八四東、五二、三二 上面

萬五千圓に比して四側の増産を見 の二山・沙川郡を明殖し月下党副者の二山・沙川郡を明殖し月下党副者 総削値、いやでも活況が弾かずに 丁七百名を便役して毎日八百嶋を いをられれ、即も従来の本山、西 B好な歯へ 健狂は 単節インフレに 当外に昨年十月から東山、 照更を有し只むへ業職すこうる 間利原織山は測業以来コ十一年 一齊增給 脳を級に微失し労働群 鑛夫に朗報

> 品妹姉 (色七)

貨客の激増は

驚くばかり

城津驛改築の要望

(高くなる

度中の哲能代金は六萬九千百八十 市都的の微層を示してある が大手と百十六場といる何れる が大手と百十六場といる何れる。 【永同】沃川燈草壁宮所の十一年 沃川の煙草 物間は著しく労働者の生活を脅威が無してゐるが助職また所職する し初めたので 高級化以間で配え

育上げ

十二回の増加で管内人口との比は 版に位り憲託を解く思北道憲託 て『た玉娥(よ)は仁川のお問め「江藩」郡内可時

任揆後のため五日同上 學轉換援のため四日本社校山支品周並氏(坡州郡蘭)利川郡に

リアニ店品粧化・局薬・店貸百顧急

ジネマと演劇。

見思花開バ 展展化容器の水産化とムーリカと物目) 惚はのいッ タン 春の 加たり \$ Ъ



●本料研化ナテウ 店商吉政保久 監整 京場神社から神宮を描いて、老月四日無軌道選出故防止斬順祭」が行はれた、町内住民等

師範型接通用門所で七日午後四時から黄金町五丁目町館の

五回九十八鐘を献金四年中卅一名は歴業四百で得た

۱.

は呼海大尉を帯間して参山、描は呼海大尉を帯間して参山、描して参山、描

松田陸軍運輸部長

交通魔を対ふ度々の交通短過に西の駅所とい

死の活動も意の如くならず、午後 即方より配大、折倒の恐風に

・ 近沿に百五十戸を焼炭目下盛ん

上六日から

風に塵の目つぶ

軍曹さん大怪我

一般的學習では來る十九日を第一次公平町一一九科學知識質及實 によって科學思想の国際に

会と催し

七日午後三時半ごろ京城浅江通陸一つて飛んで來たゴミが起に入った一右足、右手首、前側部に全古三辺

自轉車で荷馬車に衝突

一萬

が殖やす

担査を開始した 上の間に出助させてしらみ消した 者かに盗去らる 平壤若松小學校の怪事

|接した先生が投略の列揚元師列||月富山縣高岡市商副版列所から買の胸を曇らせた、七日朝団校に||右領際は四尺五寸の立像で昨年五 野や、大幅ぎとたり、中国者か 概形もなく持去にれてゐるの 思想問題を主に 谷類長以下現場に急行して一無き者の仕業と見られてゐる 和行は六日咸夜中に行はれた。 「はおいて物型も手につかない有 を関すれるが、生徒がも月到 「のと見られるが、生徒がも月到 「のに根郷が行すべきかの観本方針 れたので物型も手につかない有 と関係の相響を解析し、成名を似て七日風館職 はいるる。 「のに根郷が行すべきかの観本方針 ないまる。

全國市大學生主事大所は去る四日一府以務總長時足是近氏も際路、東 |船鹿||長田中発男氏、龍台||一駅大、駅北大、城大の各大駅を生。第一大で開催中であつたが||大、京大、東北大、九大、北大、

大學生敎育

から京城市大で開催中であつたが

所の語動を益々知的ならしめ、時京城底信分季局では賦内第一線局 大建築の許可願が

映畵と紙芝居

は印度機能時七月午的十一時三十【カルカッタ七日酸同盟】神風観

五分(日本時間七日午後三時五分)

を割破、平均時逝百八十十日の快

五時間五十二分で立川(カルカツ)

線代十一旦収費の野

第四回作品展覧會 原品を研究的の次ぎの原理的は六月下旬に開

発部五月撮影會 五月九日の日曜に素明らしい林相と古いお寺のあ

京日寫友會

が、人質問なく行

乳

₩ 内部人を問にず直命

住込みにて組入れたし、「明吾七日九四群

以充土

力

大学 (4) 一年六四番 (4) 日本六四番 (4) 日本六四年十日本上 (5) 日本六四年十日本上 (5) 日本六四年 (6) 日本六四番 (6) 日本四番 (6) 日

數女

電本二七号所 いっと派司 電本二七号所 いっと派司

マッチ遊は、

子供に禁物

直続コース六千二百七十キロ

著した、立川田健以来四か三十

単カルカッタのダイダム部行場に | 印による業者の到現、総隷総正子(日本時間七日午後二時十分)無 | 同大館に提出される施総は物関総

用度標準時七日午期十時四十分一直工行経所附上で開催されるが、

ルカッタ七日殺同盟] 神風聖 | 僧は来る十日午町十一時から巻:

ジョドブール (西印度)に向ふ

風號更

に躍進

春季大會(食を業れて) 順地右側の松はで開始の育弘石

ぜん息・神經痛や

研究部口撮影會 十一日午前八時五十五分百城開館

今津博士の新

療法

生徒募集改告

・ 大型に関する。

・

で順こり耳引り

大田公司高等普通學校一門和十二年四月

製満

京城権失効事・プロ 「市場のでは、海 すり自文 「市場のでは、海 すり自文 「市場のでは、海 すり自文 「市場のでは、海 すり自文 「市場のでは、海 すり自文 「市場のでは、海 すり自文 「市場のでは、海 すり自文

的は二十を終する朝鮮原制型が大川川山戸

けつけた消防の活動で国根をなるの数量根に燃えわり、直もに

カルカッタのダムダム飛行指を出

た長男結晶(*)のマッチの火が同○並明確さん方の紙下で腹んでゐ

付き事 研究部は京月鼠友質員中の特に熱心たら

四月が忠新期ですから新入奇の好優です。また西米の香はも奇数を後らねいます。春秋は値信料として「を生った。は「韓夏寺に入向で表さら「四次な」なるので、隠値をつくる処代のない人々も、原に軽を育に入資すれば、自に設けた資です、韓間には五人音はの情報では、東京に取けた資です。韓間には五人音はいる。

觀水町 から黄金町

ときは京城第二高女内

會明度鑑油

発達に

店舗住宅・畑が上げ山木が開発の土における。

行资本金四国文學了 西四神中一八〇(前四世祖史) 大

交の一般の一般では、

水蛭 人名 九二 商 何

響外

京が附加町・丁酉・三〇

前駅城東 トンテ西中 相八四八二本配 借六七0二一城京時期

同**们認可管德**解明 **巴成賽**们起信题

男 無人職を願う人々を配けに黄金は一郎 郷金融のて砂挺、般音風の挺常を 工機・販手廠総定を 工に飛びついて附 神 志町ミナミタクシーの自動中に地一へ配出しまたも辿りかかつ 矢つぎ早に自動車に飛付く

見合ひに失敗して 借物の服を入質

お縁に残ぶとになり、六日午後年 唯CUといふ前生、隣京の極拳第一つき出されたとは踏んだり就っ 七日初になって押さんに催出 温情の寄贈

ンベン少年がた

朝鮮集團移民出發 しき土へ

即は々捕縦橋々と呼んであた

永同縣から出級する雄々しい情景の戦士としての集圏移民が京巻館の戦士としての集圏移民が京巻館の戦士とした。本郷には鮮満一如、新しき十年の大学になる。

ロナニの中国和ロけふから明治院

春を舞ふ妓生の艶で姿

けふの天氣

本の語りであります。 の神徳氏、街子館の御別鑑(東京)今郎七十級彦 の神徳氏、街子館の御別鑑(東京)今郎七十級彦 今トピックス・セクション

を制験する歴形であります、十二の十五颗の内容

ースが似められてをります、なほ本地製品を

















































代







































ん 写がたし、いやしんよ」と破談 水は度かつたがどうしたものが観ぎ した服装で見合ひに出かけたまで













海 領別が計画 砂質トニク

檜山町で百五十戸焼失

僧で脱昇も決定し目下法部局に於と四千六百八十八名と決定、今職 四百九十二名に総道主等を入れる

田縣

一〕▲副參單九▲拱配二〇六▲参單五▲投配二十三(內動任

地質に伴ふ機構成革専備を進めて

間取りの設計や人口のつけ方ばか一

更に二課をも新設

なって三月末までに京陵町保安副 版物に上つてゐる、それも普通のへ殺難した母桑附可願ひは百八十

(お洒落になって行くが容に

がかによって、特に建築物は見

3

大繁昌の建築相談

所

配名の官更インフレ制眼方針も間

この二人の異ながが花れでパテン 裏側でこと情地が一四つ甲光男と 目七四的立の配置で控制が六二版 日七四的立の配置で控制が六二版 るのを巡回中の制盤とはが膨起、 くと関系に指げ事を禁しんであ

街頭で賭博

○……振いれた後は『他の願はす

改良時代観測化を訪れた関係

自楽酒の揚句が警察へ

(郵 券 四 銭 更) 每月五日阴靜

花柳病外科電グスプスの 茶 豆口寒内

だから厳軟なものである。 | 概定、中にはデザイン等の本常位大きなものだけに限られてゐるの | りではなく配光の具合とか地質の は重要取得規則の改正によって、使の一つの限測を認能なもので、大は手くと言って、中面自己ことに、使の一つの限測を認能なもので、これはモダン京と言れ、十億年を記されたものがキューへのがあって、この協理政府接近は一世のである。これはモダン京と言れ、十億年を対して、大会にもの解説、料理は、工場、登録を書きてきる。 観査、中にはデザイン語の本格的

- 原法部庭町山上番地の後の

〇特典 | 學家與

開大自和東京日本の 院

水精音風には当る三十一日語

A--45(9)

田県所 京城所が金町二丁目一九九 (明 取 三 税) 江田技本局(2)1566番 出場所技名(2)2965番

9

ルニーー京振 五七三二②圏本電

(英二要)呈送20%